

もももん!

第61話 ポケっとなってしまう!



主人公の岩井耕太君は、現在地元の小学校に通う男の子。将来新聞記者になるため、地元の農畜産物の魅力について、勉強中です。農業にはまだまだ知られていないことがたくさん！今月はナスビーナスが登場。あでやかなナスの皮をつくるためのひと手間を惜しむと、ある言葉の語源に…これに由来していたんですね！

園芸センター (集出荷場)

ナスは鮮度が命！
収穫の次の日には
店頭に並ぶわ！

次々ドラウガ
忙しいわ！

大きさが
しっかり
そろっているね

関東産のナスは
Mサイズ(13〜14センチ)が
中心なのよ

一方JAいわて平泉産は
ALサイズ(15センチ)中心の
ポリユーム感を重視！
産地によって規格や
包装を工夫して
出荷しているの

ALサイズ 関東産
Mサイズ JAいわて平泉産

※ちなみに大きさによる価格の違いはほとんどないそうです

それにしても
黒くてツヤツヤ
だよなぁ

それから
日持ちするんです

管内の栽培品種
「くろべえ」の特長は
まさにその皮の色

美しい皮の色を引き出すには
十分な太陽光を当てなくては
ならないの…!!

実際に葉の影が落ちぬよう
余分な葉を丁寧に
取り払って育てるのよ

もっさり

スズキリ!

葉を取る取らないって
そんなに重要なの！
当たり前よ!!
このひと手間を省くと
皮からツヤがなくなると
色までくすむわよ!

画像検索
してねな

ちなみに
ぼんやりした人を指す
「ぼけなす」の語由来が
このポケナスなのよ…!!

うわっ
これはヒドイ!!
光が当たらないわけ…!!

このナスたちがツヤツヤなのは
農家さんが働き者だっていう
証なんだね!

そうよ!
ポケっとして
いられないわ!

毎月17日は
「国産ナス消費拡大の日」!
今年も東北最大規模の産地から
ナスをお届けします♥

編集後記

▽季節が進み田植えの時期を迎えました。汗を流し忙しく働く生産者の皆さんを見かけるようになりました。令和の米作りも始まり、実り豊かな秋を迎えられることを期待しています。管内の小学校でも学習田の田植えが始まりました。JAでは青年部が中心となり学習田の指導や管理を行っています。地域産業の一つである農業の体験を通じて、そこに暮らす人々との関わりを深めるとともに、食と農業への興味を扉を開いてくれることを願っています。

(浅利)

▽今回の定期人事異動で広報担当になりました及川と申します。今月号から取材に同行させていただきながら、取材の難しさを目の当たりにし、聞く力、書く力を着けていこうと日々奮闘しています。今後の取材を通して皆さまにお会いできることを楽しみに組合員、愛読者の皆さま、地域が元気になれるよう広報誌を目指していきたいと思っております。ご指導、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

(及川)

